

平成24年度第2回委員会対象事業について

平成24年度 第2回
公共事業評価監視委員会
[資料 4]

各事業箇所について以下の3つのカテゴリーに区分

- I・・・早期供用に向け、積極的・計画的に進める事業
- II・・・これまで長期間を要していたが、あと少しで完成する見込みであり、完了予定年次を明示し、積極的に進める事業
- III・・・これまで事業進捗が遅れていたが、部分的にでも事業効果の発現を図りつつ、進める事業

	事業箇所	カテゴリー区分	経緯・現状	今後の事業展開
1	国道169号 高取バイパス	I	<p>【1工区の供用と事業進捗が遅れた理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1工区が平成24年4月に供用 ○1工区供用による効果 下土佐交差点(渋滞箇所)の交通量が約1,000台/日の減少 ○2工区については、地元調整が難航したため、用地交渉着手が平成24年度からとなった。(井戸補償、地区内道路の機能復旧) 	<ul style="list-style-type: none"> ○用地交渉環境が整い、順次交渉に入っている。 ○大規模構造物(トンネル、橋梁、ボックスカルバート等)を計画的に実施し、早期供用を目指す。 ○高取バイパス全体の整備効果を発現させるため、早期の供用を目指す。
2	国道369号 大保道路	III	<p>【事業の必要性と遅れている理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国道369号で県内唯一の未改良区間、ボトルネック箇所である。 ○緊急輸送道路、通学路であるにもかかわらず狭隘で危険な状況 ○設計にあたっての地元調整が難航、地図混乱のため、平成25年度より用地着手予定 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成24年度は、用地測量、地籍整備を実施 ○地元調整も整ったことから、本格的に用地交渉に入る。 ○線形の悪い箇所から優先的に整備を進め、早期の事業効果発現を図る。
3	(主)桜井吉野線 百市	III	<p>【遅れた理由とルート見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現道斜面の落石調査と対策検討および景観検討(モミジの保全方法等)のため、事業が遅延 ○落石群を避けるとともに、大規模法面工事を抑制し、モミジ、桜を残しながら、事業を実施する必要があり、ルート見直しを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見直したルート案をもとに、地元説明に入り、計画的に進めていく。 ○ルート変更のない区間については、平成24年度より用地のまとまった区間から工事を実施。部分的にでも順次供用し、早期の事業効果発現を図る。
4	(主)大峯山公園線 中越	II	<p>【事業の必要性と完了予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当該路線は、国道309号から洞川温泉で有名な洞川集落及び世界遺産である大峯山の登山口への唯一のアクセス道路であるが、幅員が狭小であるため観光シーズンには温泉や大峯山に向かう乗用車や観光バス等により地域住民の生活に悪影響を及ぼしている。 ○用地は買収済み 	<ul style="list-style-type: none"> ○当該道路は、観光道路としての性格が強く、改良工事を行う際に同時に複数の区間で通行規制が掛けられないことや冬期は積雪が多く工事が可能な期間に限りがあることから事業期間が長くなっているが、平成17年度の補助事業化後、翌年には概ね事業用地の協力が得られるなど地元の熱意も高い事業(現在、用地買収は完了)である。 ○平成26年度完了予定
5	(一)榎原神宮東口停車場飛鳥線 石川～和田	II	<p>【事業の必要性と完了予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○榎原と飛鳥をつなぐ観光ルートであり、平成7年度より事業を行っている。 ○用地進捗率96%で、あと数%の状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○残る用地の早期買収に努める。 ○平成27年度事業完了予定
6	(一)椿井王寺線 椿井～三室	III	<p>【路線性格・地図混乱・部分的な整備効果発現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅地内の地区内幹線道路 ○事故が非常に多い箇所であり、歩行者、自転車の交通安全を図る。 ○著しい地図混乱地のため、用地買収の着手が遅延した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成24年度中に地籍整備を完了。 ○用地買収重点区間(3区間)を設定し、まとめて用地買収できた区間から工事着手。部分的に早期の事業効果発現を図る。
7	(一)櫛羅御所線 櫛羅	II	<p>【遅れた理由と完了予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国道24号から葛城山への観光アクセスルート ○長年の用地交渉難航があったが、平成23年度に事業に協力姿勢になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○未買収地について、地権者が事業に協力姿勢となった。 ○現在詳細設計中であり、その後用地境界確定を行い、平成24年度中に買収を完了させる予定。 ○平成27年度完了予定